

地域の声を町へ

鶴田町行政推進員と町との意見交換会

行政推進員と町との意見交換会

4月22日（月）、町国際交流会館で「行政推進員と町との意見交換会」が開催されました。各地区の行政推進員からは、地域の声を代弁してさまざまな意見や要望が出されました。今回は意見交換会の内容の一部をご紹介いたします。

廃校活用について

Q 【鶴寿団地】

廃校の利活用について、地域に活用させてはどうか。芸能、工芸、文化の活動場所として、または地域の団体の利用場所など。

A (総務課長)

学校の統合によって廃校となる施設を活用する場合には、その維持管理に多額の費用が必要となり、老朽化が進んでいる施設が多いため、改修費用も必要となります。施設の有効活用と財政負担を考慮する必要があるため、町では、「鶴田町廃校施設等利活用基本方針」を策定し、その活用方法を検討しております。

基本方針では、「町施設としての有効活用」、「避難所機能の維持」、「民間事業者等による活用」、「廃校施設等の解体撤去」を基本的な考え方とし、各施設の方向性を「菖蒲川小学校ー用途転用または売却」、「梅沢小学校ー売却または除却」、「胡桃館小学校ー用途転用または売却」、「富士見小学校ー用途転用または売却」、「水元中央小学校ー有効活用」としています。現在、この基本方針に基づき、役場内で活用方法案を募集し、各団体からも活用アイデアを募集しているところです。

融雪溝の計画について

Q 【みどり町】

融雪溝の設置について、現状と今後のスケジュールについてどうなっているのかお知らせください。

A (建設整備課長)

統合小学校建設という大きな事業を実施していることや建設整備課の事業として、上下水道や道路建設のインフラも含めた駅東北側造成工事を実施していることもあり、現時点では建設整備課内での検討事項としております。検討内容としましては、1. 全体工事費（予算） 2. 町全体としての公平性 3. 個人で設置した井戸枯れや地盤沈下の影響 4. 补助事業採択の有無（費用対効果） 5. その他の雪処理方法や工法 6. 水害対策 7. 事業期間 8. 融雪溝組合の設置等管理運営等々があります。

1. の工事費についてであります。すが、みどり団地内の路線の総延長は、約4300メートルあり、仮に工事を実施した場合、さく井や送水管等も含めた概算工事費は12億円以上必要となります。2. の公平性という面で、みどり団地に建設予算が集中しないかどうか、他の地区とのバランスはどうか等検討しております。3. の井



令和元年度 鶴田町行政推進員	
町内・集落名	氏名
派立	斎藤 恭藏
寺町	竹浪 秀治
仲町	上原 英夫
本町	長内 光男
駅前通り	澤田 直廣
田中町	鶴谷 和美
桜町	松山 久志
富士見町	月永 洋子
公園通り	藤田 哲也
文化通り	渋谷 和幸
鷹ノ尾	藤田 保
相原町	永田 房男
みどり町	瀧谷 兼幸
あさひ町	浅利 繁
駅東町	佐々木年一
大性	三浦 行雄
菖蒲川	野宮 行雄
鶴泊	三浦 清勝
亀田	坂本 康博
新田子	坂本 春義
大巻	嶋谷 勝廣
強巻	小田桐貞三
胡桃館	花田柳太郎
境	奈良 幹夫
中野	工藤 義孝
山道	一戸 雅人
桂井	須藤 貞夫
稻川	石村 吉広
尾原	須藤 繁喜
田の尻	岡 雄一
野木	浅利 治一
間山	成田 豊昭
木筒	小山内英樹
鶴寿団地	木村 敏夫
前中野	鏡谷 聖
後中野	川村 和雄
掛元	天坂 則行
米元(共栄)	長谷川 隆
稻元	石澤 秋彦
東瀬良沢	伊藤 誠二
西瀬良沢	成田清四郎
沖	佐々木 明
横 范	花田 正俊
松倉	安田 隆

また、今後の除雪対策としましては、これまで以上に全町の排雪頻度を上げて雪対策に対応して参りたいと思います。

カーブミラーの設置について

町民ふれあいスポーツエスティバルについて

いたします。

してまいります。

い。
町としては、将来的なふれあいセンター等の運営のあり方にについて、今後検討していくたいと考えていますが、各集落においてもふれあいセンター等の利活用の促進および使用料の見直しの検討など使用料収入の確保に務めていただきますようお願いします。

(教育次長)

町に於いては、将来的なふれあいセンター等の運営のあり方にについて、今後検討していくたいと考えていますが、各集落においてもふれあいセンター等の利活用の促進および使用料の見直しの検討など使用料収入の確保に務めていただきますようお願いします。

ふれあいセンター修繕について

めて昨年10月1日付で指定管理者の方々に文書でお知らせしています。なお、会議および決定内容のお知らせについては施設の管理運営をお願いしている各集落の指定管理者の皆さんを対象に行つたことから、管理運営を町内会とは別の団体で行つている集落については行政推進員さんへの周知がなされましたが、その後どのようになりましたか。

胡桃館

昨年の町との意見交換会に於いても例外ではなく、各町内会においてはスポーツエスティバルへの参加に向けた選手の確保に大変ご苦労されていると聞き及んでおりますが、町民が一堂に会してスポーツに親しみ、健康保持・増進を図りながら町内会の親睦を深めるイベントは大変有意義なものであると考えております。

胡桃館

昨年の町との意見交換会に於いては、昨年の意見交換会でのご意見を踏まえ昨年6月に施設の管理運営を行つてあるふれあいセンターおよび文化センターの指定管理者の方々を対象に施設の管理費用の負担区分に係る会議を開催しております。

ふれあいセンター運営経費の助成について

行政推進員さんにも決定内容をお知らせしておりますのでご理解をお願いします。

胡桃館

協議の結果、建物本体および設備については一件あたりの費用が備についてます。今回のご意見をもとに、町としても体育協会並びにスポーツ推進委員と協議しながら、各町内会においてより参加しやすく、楽しんでいただけるスポーツエスティバルの開催を目指して検討を継続



A (町民生活課長)
カーブミラーの設置につきましては、毎年、町交通安全協議会の各支部が要望を取りまとめ、五所川原警察署、西北地域県民局、当町の建設整備課等関係機関が合同で現地を確認する道路診断を実施した後に緊急性や優先順位を考慮した上で着手していくこととなつております。

A (教育次長)
全国的な少子高齢化は当町においても例外ではなく、各町内会においてはスポーツエスティバルへの参加に向けた選手の確保に大変ご苦労されていると聞き及んでおりますが、町民が一堂に会してスポーツに親しみ、健康保持・増進を図りながら町内会の親睦を深めるイベントは大変有意義なものであると考えております。

A (教育次長)
ふれあいセンター等の修繕については、昨年の意見交換会でのご意見を踏まえ昨年6月に施設の管理運営を行つてあるふれあいセンターおよび文化センターの指定管理者の方々を対象に施設の管理費用の負担区分に係る会議を開催しております。

協議の結果、建物本体および設備については一件あたりの費用が備についてます。今回のご意見をもとに、町としても体育協会並びにスポーツ推進委員と協議しながら、各町内会においてより参加しやすく、楽しんでいただけるスポーツエスティバルの開催を目指して検討を継続